

## 言葉の旅 スペイン語のバリエーション(5)

### アメリカ合衆国

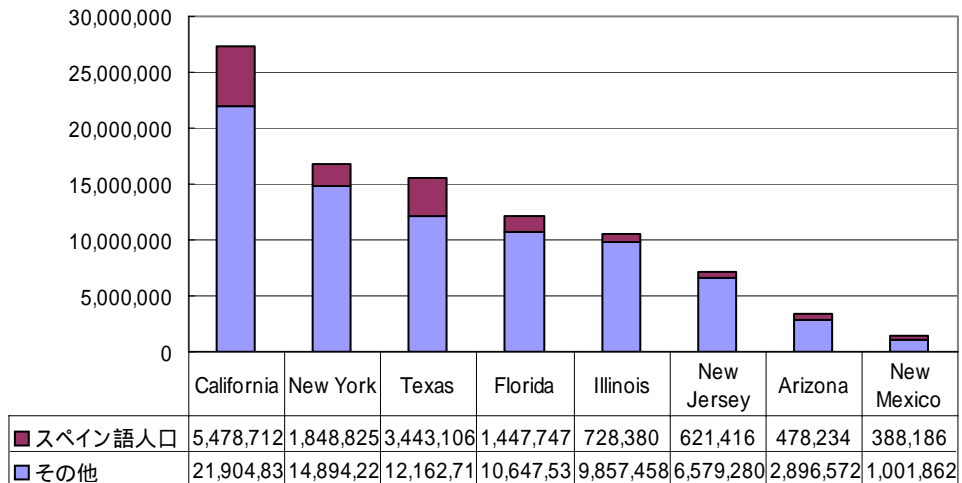
アメリカ合衆国もスペイン語使用国です。国勢調査 (1990 年) によると南西部のカリフォルニア州 (California), ニューメキシコ州 (Nuevo México), テキサス州 (Texas), コロラド州 (Colorado), アリゾナ州 (Arizona) のスペイン語人口は 1300 万人になります。1848 年までメキシコ領であったこの広大な地域は, 現在でもメキシコなどから多くの人々が移り住んでいます。それに続いて, ニューヨーク州 (Nueva York) のプエルトリコをはじめとする移民が 180 万人を数え, フロリダ州 (Florida) にはキューバ人 (145 万人), さらにイリノイ州 (Illinois) にも多くのスペイン語人口が集中しています (73 万人)。



【写真-1】マイアミの街角で

下のグラフの資料は U.S. Census Bureau によるものです。

<http://www.census.gov/ipc/www/>



【図1】スペイン語人口の多い州

合衆国の全スペイン語人口は現在ではおよそ 2600 万人にまで達し、総人口の 10% を占めるまでになりました (El País 誌, 1998/6/3)。将来合衆国が二言語使用国(país bilingüe)になるという予想もあるので、これからこの国を知るためにはスペイン語が英語と並んで必須の言語になることでしょう。

アメリカ合衆国のハイスクールと大学で学ばれる外国語の筆頭は、もちろんスペイン語です。350 万人(全体の 65%)のハイスクール生と 60 万人(62%)の大学生が、4 万人のスペイン語教師について学習しています(El País, 1996/6/18)。

さて、南カリフォルニア大学のスペイン語学者カルメン・シルバ・コルバラン (Carmen Siva-Corvalán) は、合衆国の人々が話すスペイン語に英語との頻繁な切り替えが見られることを報告しています("El Español actual en Estados Unidos", en C. Hernández Alonso (ed.) *Historia y presente del español de América*, Junta de Castilla y León, 1992)。たとえば、次のようなテキストを見てみましょう。

Me dijeron que podía go ahead, y so pues me fui. Y como cuarta milla alguien estaba coming down at me. Nadie lo paró y me, me machucó de frente. (先に進めると言われたのでそれで進んだら、4 分の 1 マイルぐらい先で、誰かが

こっちに向かって走ってくるんだ。誰も止めなかったんで正面衝突さ)

Y la señora que my grandmother worked for tenía twenty-seven rooms, you know, and we had our own house - in the back, where we lived at, y - mi abuelito no pagaba renta. (私の祖母が働いていたところの女主人は 27 部屋も持っていたんですね, それで私たちにも裏に家があって, そこに住んでいたんだけど, おばあちゃんは家賃を払っていなかったの)

このような言語の切り替え (code-switching) は, 日本語の中に英語の外来語(extranjerismos) が混ざるのとは規模も性格も違います。こうした言語はスペイン語 (Spanish) でも英語 (English) でもなく, 次のようにして新たに「スパングリッシュ」(Spanglish) と呼ばれるようになりました。

**Spanish + English = Spanglish**

インターネット上にも, Spanglish で書かれた無数のホームページがあり, とても活発な意見交換や文化活動が見られます。



【図 2】 Spanglish のホームページ

<http://www.el-castellano.com/spanglis.html>

この画面の右側にコンピュータの絵からせりふの吹き出し(bocadillo)があって、「¿DELETEAR? (消去/ディリートする, という動詞) を使っていいのかな?」と心配しています。deletear は英語の delete からできた Spanglish ですが, 標準的なスペイン語なら borrar と言うところでしょう。

## スペイン語の力

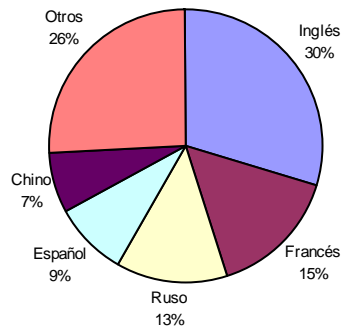
スペイン語圏全体のスペイン語使用人口は, 1999 年の資料(Jaime Otero, 1999, "Demografía de la lengua española", en *Español en el Mundo*, Instituto Cervantes, [http://cvc.cervantes.es/obref/anuario\\_99/oteró](http://cvc.cervantes.es/obref/anuario_99/oteró)) によると, およそ 3 億 3300 万人だそうです。次は其中で 1000 万人以上の国の表です。

【表】スペイン語圏の国別人口 (上位 9 国)

国	スペイン語使用人口	総人口	%
México	92,890,000	94,275,000	98.5
España	38,969,000	39,323,000	99.1
Colombia	35,850,000	36,200,000	99.0
Argentina	35,300,000	35,409,000	99.7
Venezuela	22,060,000	22,777,000	96.9
Perú	19,440,000	24,371,000	79.8
Chile	13,080,000	14,583,000	89.7
Cuba	11,190,000	11,190,000	100.0
Ecuador	11,100,000	11,937,000	93.0

この表を見ると, アメリカ合衆国(スペイン語人口 2600 万人)がメキシコ, スペイン, コロンビア, アルゼンチンに続く**世界第 5 位**のスペイン語使用国であることがわかります。そして, 合衆国を含めれば全世界のスペイン語人口は 3 億 6000 万近くになります。

このようにスペイン語は人口の面から見て非常に重要な言語ですが, 地理的にはどうでしょうか。世界中のスペイン語圏の地表面積を総計すると, およそ 1200 万平方キロメートルになり, これは世界の地表面積の 9% です。面積比をグラフにすると次のようになります。



【図3】言語の使用地域総面積

これにアメリカ合衆国を含めれば、世界の陸地のおよそ10分の1以上がスペイン語圏だということは確かです。

### 言葉の広がり...「コンピュータ」

「インターネット」はどこでも **Internet** [インテルネット] といい、「マルチメディア」も **multimedia** [マルチメディア] ですが、本体の「コンピュータ」は、スペインとラテンアメリカでははっきりと区別されます。スペインでは **ordenador** (【地図】では Or)、ラテンアメリカでは **computadora** (Ca) が一般的で、コロンビア、ベネズエラ、チリでは **computador** (Cr) も使われます。スペインではフランス語 (**ordinateur**) の影響、ラテンアメリカではアメリカ合衆国の英語 (**computer**) の影響があったようです。



【地図】「コンピュータ」

【課題 5a】次の WEB ページを読み，1990 年と 2000 年の間の合衆国のスペイン語人口の変化について述べなさい。

<http://www.census.gov/prod/2003pubs/c2kbr-29.pdf>

【課題 5b】次はいわゆる「Spanglish」の例である。これを見て気づいたことを書きなさい。

tiquete [boleto, billete] (13), chou [espectáculo] (13), yarda [patio, solar] (12),  
 troca [camioneta] (12), soda [refresco] (12), seil [venta] (12), raid [aventón]  
 (12), cash [efectivo] (12), cherri [cereza] (12), cora [cuarto, 25 centavos] (12),  
 bil [cobro] (12), yonque [desgüesadero] (11), sinc [fregadero] (11), ponchar  
 [perforar] (11), overtime [tiempo extra] (11), movis [películas] (11), lonche

[comida] (11), yins [pantalones de dril] (11), fríser [congelador] (11), e-mail [correo electrónico] (11), chequear [examinar] (11), babysit [cuidar niños] (11), tax [impuesto] (10), chopin [compras] (10), parti [fiesta] (10), liquear [gotear] (10), daime [diez centavos] (10), cliquear [oprimir] (10), breik [descanso] (10), appointment [cita] (10), guachar [observar, mirar] (9), puchar [empujar] (9), parquear [estacionar] (9), marqueta [mercado] (9), librería [biblioteca] (9), joni [querida] (9), dil [trato] (9), beibi [bebé] (9), bloque [cuadra] (9), sain [letrero] (8), cuitear [dejar] (8), lóquer [casillero] (8), carpeta [alfombra] (8), mopear [trapear] (7), taipear [escribir a máquina] (6), trainear [entrenar] (6), parqueadero [estacionamiento] (6), fild [campo] (6), breca [freno] (6), trai [bandeja] (5), sainear [firmar] (5), pompear [bombear] (5), ganga [pandilla] (5), espelear [deletrear] (4), esquipear [faltar a clase] (4), dar para atrás [regresar, devolver] (4), bompe [tope] (3), brif [modelo de trabajo] (3), sortear [clasificar] (2), mailear [enviar correo] (2), cuquetear [cocinar] (2), guachatería [lavandería] (1), vacunar [aspirar] (1), soquetines [calcetines] (1), startear [prender] (1), rufo [techo] (1), grocería [alimentos] (1), gasolín [gasolina] (1), ben [arcón] (1), glaso [vaso] (0).

\*それぞれのデータは, Spanglish [標準的なスペイン語] (Los Ángeles の 13 人の大学生に面接して調べた使用語彙 ,たとえば 10 ならば 13 人中 10 人が使用する と答えた)の順である。

【課題 5c】「コンピュータ」を意味するスペイン語の語形の地域的語彙バリエーションについて調べなさい。

【参考】Varilex: <http://gamp.c.u-tokyo.ac.jp/~ueda/varilex/>